

山形大学大学院 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
「やまがた次世代共創イノベーション人材育成プログラム」説明資料 (2025年1月22日)

山形大学

次世代研究者挑戦的研究プログラム
(SPRING: Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation)

やまがた次世代共創イノベーション 人材育成プログラムについて

Program to support the next generation of co-creation innovators (YU-SPRING)

山形大学 教育推進機構

1

山形大学では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）に参画し、2024年度から「やまがた次世代共創イノベーション人材育成プログラム」を開始しました。

以下にその内容について紹介します。

次世代研究者挑戦的研究プログラムとは？

国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

次世代研究者挑戦的研究プログラム
Spring for Promising Researcher Initiated by the Next Generation

公募情報 支援プロジェクト イベント・成果

Google 検索 JST 科学技術振興機構

サイトマップ 情報公開 お問い合わせ English
各種手続き 博士後期課程学生支援について



博士後期課程に進学する学生を支援するプログラム

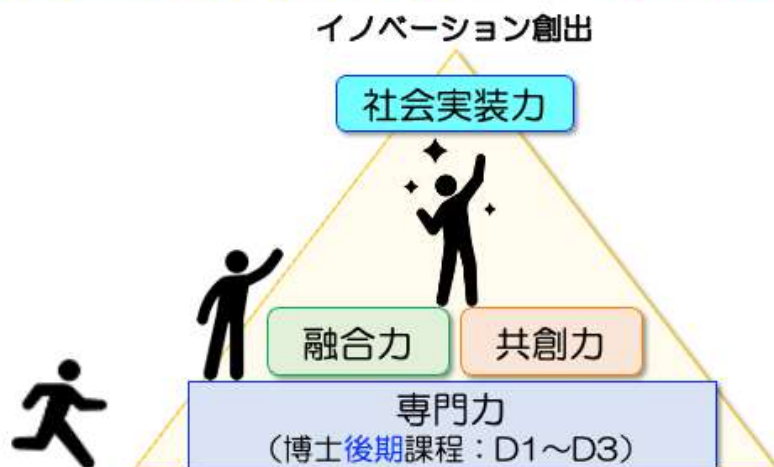
昨今の日本において、将来の科学技術・イノベーションの牽引を担うべき博士後期課程学生の進学率および進学者数がいずれも減少傾向にあることが指摘されています。

科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある人材確保のため、こうした博士後期課程学生への経済的支援を強化し、多様なキャリアで活躍できるように研究力向上や研究者能力獲得を支援することを目的として、JSTでは「次世代研究者挑戦的研究プログラム（通称 SPRING）」を実施しています。

山形大学の博士人材育成プログラム

次世代のイノベーション創出に**社会実装力**で挑戦する
“**次世代共創イノベーション博士人材**”を育成する

次世代共創イノベーション人材として活躍する上で必要な、**3つの能力**
(『**専門力**』、『**融合力**』、『**共創力**』)獲得、『**社会実装力**』向上を支援



専門力に加え社会実装力向上を支援、イノベーション創出人材へと導く

JST の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の趣旨に沿って本学が企画した博士人材育成プログラムとして「やまがた次世代共創イノベーション人材育成プログラム」を提案し採択されました。

本学では、2024 年度から次世代の共創的イノベーションを担う博士人材を育成するプログラムを、理工学研究科・有機材料システム研究科・医学系研究科先進的医科学専攻・看護学専攻の博士後期課程入学者（予定含む）の方を募集対象に開始いたしました。

本プログラムでは、次世代共創イノベーション人材として活躍するうえで必要な3つの能力として『専門力』、『融合力』、『共創力』の獲得、および、それらを踏まえた上での『社会実装力』向上を支援する制度設計がされています。

詳細については、本プログラム生募集要項をご覧ください。

プログラムの特色

(1) 経済支援（研究奨励費・研究費）

- 研究に専念するための支援金として、研究奨励費および研究費からなる経済支援を実施

¥204万/年(上限)

¥70万/年(上限)

(2) 研究力の向上

博士学位への取り組み

- 卓越した『**専門力**』に加え、研究や事業を複合的かつ創造的に推進する『**融合力**』と、世界中の研究者・技術者を巻き込んで研究・プロジェクトを推進する『**共創力**』の獲得を支援
- トランスファラブルスキルを身につける

教員メンター、企業人材メンターによる指導

デザイン思考科目の受講、
社会実装インターンシップの実施など

(3) キャリアパスの支援

- ジョブ型研究インターンシップを含めた企業へのインターンシップ機会、企業人材メンターや修了生によるOB・OGメンターとのメンタリング機会（予定）



経済的支援、研究力向上支援、キャリアパス支援の三位一体支援

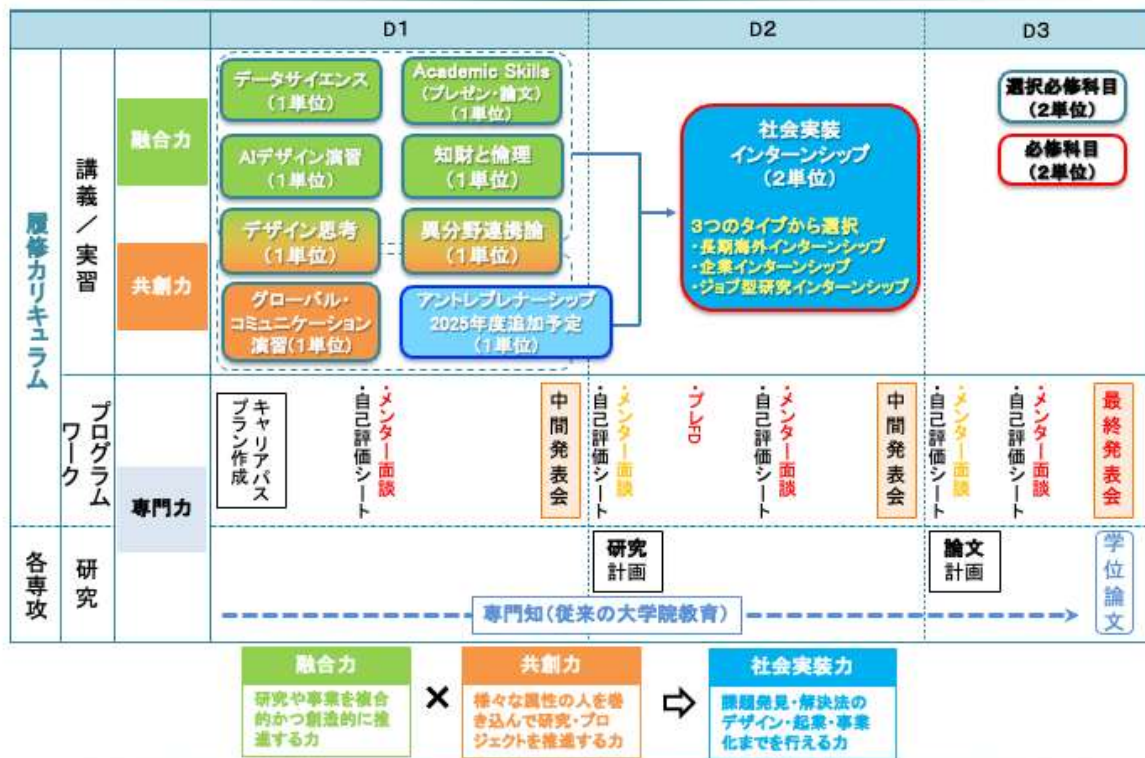
プログラムの特色として、(1) 生活費等に当てる研究奨励費として月額¥17万（¥204万/年）および研究費を¥70万/年の経済支援の実施、(2) 研究力向上のための教員や起業人材からのメンター指導や『融合力』『共創力』獲得のため関連した科目の提供、(3) キャリアパスの支援などを予定しています。

プログラム生がやるべきこと

- ① 各研究科/専攻に所属し、『**専門力**』を身につける
- ② 「**融合力・共創力系科目**」を履修し、『**融合力**』及び『**共創力**』の向上に努める
- ③ 「**インターンシップ系科目**」を履修し、イノベーションをもたらすための力を身につける
- ④ プログラム開始時に、自身の**キャリアパスに関する計画**を立てる
- ⑤ 半年毎に、**自己評価シート**（Semi-Annual Self-Evaluation：SASE）を提出する
- ⑥ **学生主催のセミナー(プレFD)**を開催し、学生等に向けたセミナーを行う
- ⑦ 1年毎に実施する**中間発表会**に参加し、研究の進捗状況について発表する
- ⑧ 最終年度に実施する**最終発表会**に参加し、3年間で取り組んだ研究成果について発表する

プログラム生は、支援を受けることができる一方で支援の効果を最大限引き出すために、①から⑧に示す8つの義務に取り組むことが求められます。

プログラムのカリキュラム



こちらは、プログラム生のやるべきことを含めたカリキュラム表になります。

プログラム生は、履修モデルとして1年次に指定された選択必修科目群から2単位、2年次に「社会実装インターンシップ (2単位)」を履修することになります。

ただし、選択必修科目については、すでにこれらの科目に関して博士前期課程で2単位を超えて履修していた場合、2単位を超えて履修した科目を本プログラムの履修要件に当てることができます。

本プログラムへの参加方法

● 4月入学でM2の方

M2：博士後期課程入学試験(院試)を受験（年2回、8月・2月頃）

合格

M2：本プログラムの選考試験を受験（年1回、3月頃）

合格

山形大学大学院D1入学（4月～） + プログラム生（4月～）スタート

● 10月入学でD1の方 …… M2で本プログラムを受験していない場合のみ

D1：本プログラムの選考試験を受験（年1回、3月頃）

合格

山形大学大学院D1在籍（10月～） + プログラム生（4月～）スタート

● 10月入学でM2の方

M2：本プログラムの選考試験を受験（年1回、3月頃）

合格

M2：博士後期課程入学試験(院試)を受験（8月頃）

合格

山形大学大学院D1入学（10月～） + プログラム生（10月～）スタート

7

本プログラムに参加するには、M2（4月入学）の方の場合、各研究科での博士後期課程入学試験に合格し、本プログラムの選考試験（3月頃）に合格する必要があります。

10月入学でD1の方の場合、本プログラムの選考試験（3月頃）に合格すると4月からプログラム生として開始します。

一方、10月入学でM2の方の場合、本プログラムの選考試験（3月頃）に合格し、その次年度の9月までに各研究科での博士後期課程入学試験に合格すると、10月からD1に進学するとともにプログラム生として開始します。ただし、本プログラムの選考試験を受験できるのは1度のみです。

皆様のご応募をお待ちしております

【ホームページ】

<https://ismap.yz.yamagata-u.ac.jp>



【お問合せ先】

やまがた次世代共創イノベーション人材育成プログラム事務室
事務室E-mail : yu-in-kikou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



ご不明な点がある場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

皆様のご応募をお待ちしております。